

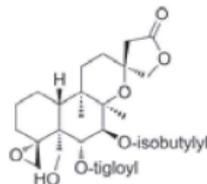
# 28M-am07S

シソ科植物 *Scutellaria coleifolia* 地上部の成分研究 (3)

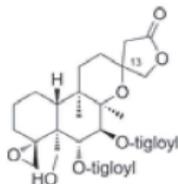
○栗本 慎一郎<sup>1</sup>, 普 建新<sup>2</sup>, 孫 漢董<sup>2</sup>, 高石 喜久<sup>1</sup>, 柏田 良樹<sup>1</sup>(徳島大院薬,  
<sup>2</sup>中国科学院昆明植物研)

【目的】シソ科 *Scutellaria coleifolia* は中国雲南省及び四川省の高地に分布する多年生草本である。演者らは新規医薬品シード探索研究の一環として本植物地上部の成分探索を行い、これまでに 14 種の新規化合物を含む 18 種の terpenoid の構造及び生物活性を報告している<sup>1)</sup>。今回引き続き本植物地上部の成分探索を行い、新たに 4 種の新規 diterpenoid を単離したので報告する。

【方法・結果】2011 年 8 月に中国四川省で採集された *S. coleifolia* の乾燥地上部 3.0 kg を 70% 含水アセトンで冷浸抽出し、得られたエキスを EtOAc, *n*-BuOH, H<sub>2</sub>O で順次溶媒間分配した。これらの画分のうち EtOAc 可溶部 130.0 g を各種クロマトグラフィー (silica gel, Sephadex LH-20, MCI gel CHP-20P, ODS, ODS HPLC) により繰り返し分離・精製し、4 種の新規 diterpenoid (1-4) を単離した。新規化合物の構造は各種スペクトルデータの詳細な解析により決定した。これらの化合物の生物活性については現在検討中である。



1



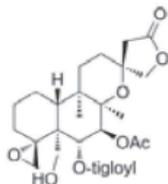
C-13

2

S\*

3

R\*



4

1) 栗本, 柏田ら, 第 54 回天然有機化合物討論会講演要旨集 p483-488